

学校だより 雄飛

佐倉市立西志津中学校 第2号 令和7年5月2日(金)
『自他を認め 進んで考え挑戦し 未来を拓く生徒の育成』
～自己指導能力とWell-beingの涵養～
挑戦(Challenge)・認め合い(Respect)・粘り強さ(Resilience)
発行責任者 岩崎 徹(文責 飯島 健弘)
生徒数 1年118名 2年130名 3年151名 計399名

〒285-0845 佐倉市西志津4-18-1 043-462-1161

◆『剛毅果断』◆

校長 岩崎 徹

4月24日(木)は、本校の授業参観及び保護者会に、多くの保護者様に足を運んでいただきありがとうございました。授業を参観しようと、教室に行ったのですが、教室に入りきらない様子に圧倒され、通り過ぎることとなりました。せっかく来校いただいたにもかかわらず、廊下での参観となり申し訳なく思います。そして、その後の学級保護者会にも、多くの保護者様にご出席いただいたことに、心より感謝申し上げます。令和7年度の西志津中学校に、強い関心と期待を寄せていただいている表れと、改めて身の引き締まる思いです。職員一同、生徒と保護者の期待に応えられるよう努めてまいりますので、機会を捉え学校に足を運んでいただき、生徒のより良い成長のために協働くださるとありがたく存じます。

さて、4月29日(火)は昭和の日の祝日でした。平成・令和と改元しなければ、今年には昭和100年に該当します。博報堂100年生活者研究所の調べによると、日本人の幸福度は昭和25年あたりから平成3年頃のバブル景気まで上昇傾向が続く、それ以降は低下傾向が続いているといえます。また、日本人の幸せの価値観は、主に「家族とのつながり」「仕事」「経済的な安定」の3つを重視する傾向が強かったものの、令和の声が聞こえるぐらいから変化し、「多様性」「自分らしさ」「柔軟な働き方」を重視するようになったと考えられるそうです。昭和に生まれ、学生時代を昭和とともに卒業し、平成から社会人になった私には、肌感覚でうなずけます。2度のオイルショック時はトイレトペーパーを求め親と行列に並び、国鉄がJR・電電公社がNTTと民営化されることに驚き、茨城県つくば市で開催された万博を楽しんだ私の経験は、歴史の教科書に刻まれているからかもしれません。これまでを振り返ると、今私たちの生活は、飛躍的に便利になりました。家庭に1台しかない黒い電話は携帯電話を経てスマートフォンに。手紙はメールになり、SNSが生まれ、インターネット環境があれば音声や動画で伝えることができるようになっていきます。テレビはチャンネル式白黒画面からカラーになり、今やインターネットを介した視聴可能なスマートテレビが普及しています。「こうなったら便利なのに」と思っていたことは、高い技術力で次々に実現されているのを感じます。その反面、在宅中は玄関のカギをかけないことが普通だった生活は、カギやチェーンをかけるようになり、現代は防犯システムが必需品となりつつあります。公園や駅で当たり前にあったゴミ箱は撤去され、自宅で指定日に定められた場所で捨てるのが当然となり、場合によっては有料になっています。近所の方や行き交う人には、自分から元気に挨拶できると誉められていたけれど、知らない人にはかかわらないことを推奨されるようになりました。身の回りの快適をたくさん手にした今、大事な何かを失っているかもしれないと感じることがあります。

「過去のせい、誰かのせい」を捨てたときから人生は好転する
ウェイン・W・ダイアー著「どう生きるか、自分の人生!」より

昭和100年度ではなく、令和7年度を生きる西中生は、ご覧いただいたとおり、新たな心構えで、前向きに自分を成長させることに挑戦している4月でした。結果を焦ることなく粘り強く挑戦をし続けてほしいと願います。お笑いタレントのコロッケさんが、幼いころから母親に言われていたことば『あおいくま』

あせるな おこるな いばるな くさるな まけるな

うまいかないことが続いたときは『あおいくま』を思い出して、何度でも立ち上がってほしいです。そして、実業家である稲盛和夫さんのことば

やっぱり人生で一番大事なもののというのは、1つは、どんな環境にあろうとも真面目に一所懸命生きること。

それともう1つは、人間は常に「自分がよくなりたくて」という思いを本能として持っていますけれども、やはり利他の心、皆を幸せにしてあげたいということ強く自分に意識して、それを心の中に描いて生きていくことです

にある「利他性」(自分が得するのを避けて、他者の利得を尊重する傾向)の心も忘れず、自分の思い描く自分の姿に近づくための支援体制を共に強めてくださるようお願いいたします。

体育科より

今年度の体育祭について

今年度の体育祭は、5月22日(木)に実施します。(雨天:翌日順延)現在の形で行う体育祭は今年で3年目を迎え、今まで以上にクラスや学年、全校の仲間との絆を深めていけるよう種目についても新しく変更をしました。徒競走については、ひとつのバトンをみんなでつないでいく【クラス全員リレー】の形へ変更しました。走るが好きではない生徒の分も、クラスの仲間全員で支えあい力を合わせ、ひとつのゴールを目指すことに価値を持たせたいと思います。ムカデ競走は、【長縄跳び(クラス全員跳び)】に変更しました。理由として、一番に怪我の予防です。限られた時間での練習となると、なかなか足が揃わないため前に進めず、転倒する場面が多くみられました。また上達すればするほど、スピード感のある走りとなりますが、その分転倒した際は、大きな怪我につながってしまいます。長縄跳びについては、ムカデ競走に比べ怪我のリスクを軽減させられるとともに、限られた時間の中、さらには休み時間などでも気軽に練習を行うことができます。クラス全員で一斉に同じ目標、目的をもって行うことを目指すことで絆を感じさせたいとの思いです。さらには、今年度より全学年が4クラスとなり、色分けについても縦割り系列(クラスごと)で実施することができます。その強みを生かし、全学年の合計回数を合算し勝敗をつけていくことによって、学年間のつながりを作っていくひとつのきっかけとなることを期待しています。同じ西志津中の仲間として、【みんなでひとつの種目(行事)を成功させる】といった体験を、今まで以上に経験してほしいと考え、今年度の体育祭練習をスタートさせています。各学年の実行委員中心に【チーム西志津中】として、活動を進めてまいりますので、お時間のつく限り、ぜひ生徒の挑戦する姿と絆を共に感じていただければありがたく存じます。



体育主任 山縣 卓

5月の予定

1日	木	学校経営説明会 部活動保護者会	19日	月	職員会議 最終下校 14:45
9日	金	修学旅行 荷物送付 8:20	20日	火	体育祭予行
12日	月	3年生修学旅行 最終下校 15:10	22日	木	体育祭
13日	火	3年生修学旅行	23日	火	体育祭予備日
14日	水	3年生修学旅行	26日	月	学年裁量日 最終下校 15:20
			28日	水	全校委員会
スクールカウンセラーの出勤日は、木曜日です。5月は8日(木)と15日(木)と29日(木)です。					

6月の予定

3日	火	生徒総会	18日	水	教育相談
5日	木	歯科検診(3年・2年3、4組)9時~	19日	木	教育相談 進路説明会
6日	金	脊柱側弯症検診(1年)13:00~	20日	金	教育相談
9日	月	職員会議 最終下校 14:45	23日	月	学年裁量日 最終下校 15:20
10日	火	眼科検診(1年+2、3年抽出)13:00~	24日	火	教育相談
11日	水	第1回定期テスト	25日	水	内科検診(3年・2年3、4組)9:00~
12日	木	第1回定期テスト	26日	木	歯科検診(1年+2、3年抽出)9:00~
17日	火	教育相談	27日	金	耳鼻科検診(1年+2、3年抽出)13:30~
スクールカウンセラーの出勤日は、木曜日です。6月は5日(木)と19日(木)と26日(木)です。					

学習指導部より

新しい学年が始まり、学習への意欲も新たにしていることと思います。本校では生徒一人ひとりの学力向上を目指し、各教科の担当教員が、生徒が主体的に授業に参加できるよう努め、生徒の理解度に応じた指導を心がけています。授業では、基礎的な知識の理解と運用能力の育成と、グループワークや実践的な課題を通じて、問題解決のための思考力の育成を目指しています。

○学習用具・タブレット PC について

各教科の担当教員より指示がある場合以外は、学習用具を持ち帰るべきかどうかを生徒自身が判断しています。タブレット PC は毎授業で使用できるように用意します。家庭学習でも大いに活用していただき、ご家庭でしっかり充電して持参させてください。ご家庭での保管場所など、ご検討いただければと思います。

○家庭学習について

家庭での学習は、学校での学びをさらに深める重要な機会です。毎日一定時間の家庭学習時間を確保することを推奨します。家庭学習のポイントは以下の通りです。

- ・規則正しい学習習慣：毎日同じ時間に学習を始めることで、規則正しい生活リズムを築きます。
- ・目標設定：学習の目的や目標を明確にし、達成感を味わえるようにします。
- ・集中できる環境作り：静かな場所で、テレビやスマートフォンから離れて学習に集中できる環境を整えます。
- ・復習の時間：授業で学んだことを復習し、知識を定着させます。

教科書等の所々に二次元コードがあり、学習の参考となる資料や動画を閲覧できるようになっています。ドリル学習を進められるデジタルコンテンツ（ドリルパークや e ライブラリ）もございますので、それらを活用しながら深い学びへと繋げ、生徒が自分のペースに合わせて粘り強く学習に取り組めるよう、各教科の担当教員が折に触れ学習方法を指導・支援いたします。

学習指導部 小林 真理子

生徒指導部より

新しい学年のスタートで、子どもたちが新しい環境に適応しようと努力している姿が印象的でした。特に、毎朝のあいさつをしっかりと行っている様子が多くみられ、自分から積極的にあいさつができる生徒も増えてきたように感じます。あいさつは人間関係の第一歩であり、子どもたちが積極的に取り組んでくれていることを大変うれしく思います。

5 月は、新しい環境にも少しずつ慣れてきた頃かと思っています。そこで、次のステップとして「**時間への意識を高める**」ことに取り組んでいきたいと考えています。本校では授業開始1分前の着席を通年で呼びかけています。また、授業開始の直前に慌てることの無いように、前の授業の終了後すぐに次の授業準備をするように促しています。授業に加え、5 月からは体育祭や学年の行事に向けた活動も始まります。学年や学校全体での活動も増えるので、時間への意識をしっかりと高めていくことが重要です。あいさつは生活委員会、授業準備は学習委員会を中心に、生徒の活動でも意識を向上させられるように促していきたいと思っています。

生徒指導部 金谷 晨

